

また猫と 仁尾智

猫の挽歌集

多くの猫を愛し見送ってきた
猫歌人・仁尾智と
多くの猫飼いの“声”を聴いてきた
猫本専門店オーナー
キヤッツミャウブックス店主
安村正也が贈る
猫の挽歌集

わかるなよ あなたにわかるかなしみはあなたのものではくのではない
誕生日すらわからない猫なので命日くらい見届けるのだ
のんびりとした猫だった 最期だけそんなに急いでどこへ行くのか
できることあるうちはいい 口元に猫の好物を持っていく指
生前の猫の写真を眺めてる サイダーをまたサイダーで割る
また猫と そう思えたらまた猫と暮らす未来のはじめの一步
.....など全115首



『猫を看取るときには、たくさん短歌がうまれる。～中略～

実際には、悲しみから身を守るように「短歌ができてしまう」というほうが正しい。』

『そう悲しみは共有できないのだ。それぞれが、まったく別の悲しみを抱いている。

ただ、「命」を前にしたときの右往左往や詮無い気持ちはみんな同じなのだ、とも思う。』

(仁尾智)

『～～（猫を）亡くした後の「誰にも言えないし、言いたくない、でも誰かに分かって欲しい」という複雑な心情を代弁してくれる本はなかなか見つからない。

そんな声を当店に来られるお客様からも耳にしていた。』

『今すぐには読めなくても、読めると思えるまで、

常備薬のように本棚に並べておいていただくだけで構わない。』

(キヤッツミャウブックス店主 安村正也)

『また猫と 猫の挽歌集』

著者：仁尾智

企画編集：安村正也

(キヤッツミャウブックス)

定価：1800円+税

ISBN：978-4-8441-3804-4 C0092

仕様：四六判、並製、2色、160p

仁尾 智(にお・さとる)

1968年生まれ。猫歌人。1999年に五行歌を作り始める。2004年「柊野浩一のかんたん短歌blog」と出会い、短歌を作り始める。短歌代表作に「ドラえもん短歌」(小学館文庫 柊野浩一編)収録の《自転車て君を家まで送ってた どこでもドアがなくてよかった》などがある。著書に五行歌集「ストライプ」(市井社 共著)、『猫のいる家に帰りたい』、『これから猫を飼う人に伝えたい11のこと』(ともに辰巳出版 絵/小泉さよ)、『いまから猫のはなしをします』(エムディエヌコーポレーション)。

5/12 〆切

新刊委託

帳合・貴店名

ご担当者名

冊

雷鳥社
RAICHOSHA

FAX 03-5303-9567

※おかけ間違いにご注意ください。

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-4-12 TEL 03-5303-9766

MAIL info@raichosha.co.jp